

近畿壁材版築工法

淡路配合真砂土と真砂コン液を利用した版築工法

■ はじめに



版築とは、コンクリートのような型枠に土を突き固めた工法で、主として土塀に多く利用されます。一定の間隔で積み上げ所定の高さまで突き上げていき、土と石灰と天然にがりを利用した土間たたき同様、セメントの無い時代より続く伝統工法です。

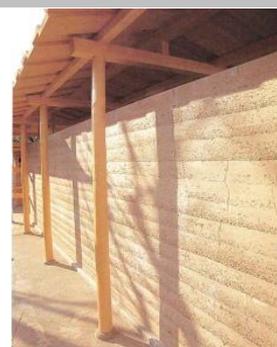
コンクリートや、セメントブロックが主流となり、版築工法はほとんど見る事が出来なくなりましたが、土の持つ自然な風合いと、地層のように積み上げられた模様が独特で、店舗や住宅の外壁などにも近年は使われるようになってきました。



■ 材 料

版築に利用する材料は、どんなものでもいいわけではありません。特に土は、砂、砂利、粘土がバランスよく配合された真砂土（花崗岩の風化した土）がよく、突き固めることにより十分に締め固まる粒度のものが良い。しかし、粘土分が多く、砂利が少ないものは、乾燥後収縮割れが発生するので注意が必要です。

もちろん、弊社真砂コン材料でも施工可能です。



材料名	配合比	備考
淡路配合真砂土	20kg	弊社オリジナル配合
普通セメントまたは 白セメント	3~4kg	
真砂コン液	250cc	

■ 工 法

- ① 淡路配合真砂土とセメントを空合わせします。
- ② 真砂コン液を水で希釈し、必要量投入し十分攪拌します。
【混練の硬さは、バサバサにしほとんど水分が無いようにします。手で握り締め固めても崩れない程度の硬さにします。】
- ③ 約10～15cm厚になるよう型枠を準備突き締めます。
【最初5cmぐらい入れ突き締めてから再度追加し締めます。】
- ④ 叩いても締らないぐらい（人が乗っても沈まない）十分に締めます。
【水が多いと締りません。押して沈むようでは失敗です。】
- ⑤ 1週間ぐらい養生して、型枠を外します。
【最低1ヶ月以上は雨にあたらないように養生します。】

その他 ※着色は無機顔料にて自由にできます。

■ 注意事項

- 気温の低い時期施工は控えてください。
- 十分突き締めますが、層の幅が狭い場合はあまり突きすぎると模様がなくなります。
- セメントの配合は、好みで加減してください。入れすぎると割れます。
- 色は養生、配合により変わります。サンプルを作成してください。
- 型枠はアクの出ないものにしてください。色が写ります。
- その他ご不明な点は、弊社にお問い合わせください。

近畿壁材工業(株)
0799-85-1147(代)